

關東上陸地支局

昭和二十一年十月十日

史実調査參考資料報告

摘要

所屬部隊	國海上機體基地第三大隊	職	大隊附 陸軍中尉	終戰時ノモリ ヲ記ス
石所在地	沖繩縣宮古郡車良町山中	氏名	[Redacted]	職ノ変更及 主ナル參加 戰ノ名ヲ記 ス
支那參戰以降 於此ル自己ノ 備	昭和十四年三月二十五日 勸告兵才第三大隊編成 五月八日 博多港出立 昭和十六日 北支山西端迄進出 同地附近進出 昭和十四年五月 中京少隊 進出 六月 愛知附近進出 昭和十六年三月 一五二八 勸告部隊進出 五月 華南進出 柳島進出 一五三三 十五軍 勸告部隊 作戦 一五五七 之中京會戰 天八八 死地ニ入ル 進出基地ヲ第三大隊附 天子作戦 其三九中隊進出 古八〇大隊進出			
所屬部隊 編成年月日及 編制裝備 概要	昭和十九年十二月十二日 大隊本部 (進出進出第三大隊) 昭和十九年十二月十二日 勸告中隊 三三中隊 整備中隊 一六中隊 勸告中隊ノ編成 三六少隊 兵力			最後所屬 部隊ヲ至ニ 尚以前ノ 所屬部隊ノ 分ヲモ概記 ス
所屬部隊作 戰經過ノ概要	宮古島防衛 天吳作戦 以前ノ所屬部隊ノ戦ノ概要ノ 前記ニ同シ			
終戰(又ハ主力 ノ戦ヲ終了) 後ノ概況	二十一年一月三十日 宮古島落			帰還 送ノ狀況 モ併記ス
帰郷(又ハ連 絡)先	[Redacted]			
其他ノ參考 事項				
備考	將校一部宛記載セシメテ一復員者史実部ニ送付ス			

3

3

14

14

關東上陸地支局

昭和二十一年三月一日

史実調査參考資料報告

官古島

所屬部隊

職官 大隊長 陸軍少佐

終戦時ノ

支那支隊

編成年月日

職ノ変更及

戦ノ参加

所屬部隊

昭和十九年九月十六日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

所屬部隊

編成年月日

戦ノ参加

戦ノ参加

関東上陸地支局

昭和 年 月 日

史実調査参考資料報告

摘要

所在地	新編部隊	職官	終戦時ノノリ
高岡市地行北郡第一聯組	細谷上陸基地第三大隊	職官 陸軍大尉 副官 [Redacted]	終戦時ノノリ
支那各地	支那各地	支那各地	支那各地
新在部隊	昭和十九年九月十六日		
及編制裝備	編制裝備		
概要	概要		
新編部隊作戦経過概要	新編部隊作戦経過概要		
終戦時ノノリ	終戦時ノノリ		
後ノ概況	後ノ概況		
帰郷(又ハ達)	帰郷(又ハ達)		
終戦時ノノリ	終戦時ノノリ		
後ノ概況	後ノ概況		
其他参考	其他参考		
備考	備考		

特設一部宛記載セシメテ一復員者史実部ニ送付ス

帰還輸送ノ概況ヲ併記ス

最後所属部隊ヲ主ニ之向ニ以前ノ所属部隊ノ分ヲ概記ス

職ノ変更及主ナル参加戦斗者ヲ記ス





支那陸軍部參謀部編纂部  
支那陸軍部參謀部編纂部

關東上陸地及局

昭和二十一年一月一日

史実調査參考資料報告

摘要

所在地	所属部隊	職官 氏名	終戦時ノ ノリノ記入
支那事変 以降ノ於テ 自己ノ略テ	○ 昭和十九年九月海上松尾連隊 ○ 昭和十九年九月海上松尾連隊 ○ 昭和十九年九月海上松尾連隊	[Redacted]	職ノ変更及 主ナル参加 戦斗名ヲ 記ス
所在部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	○ 昭和十九年九月海上松尾連隊 ○ 昭和十九年九月海上松尾連隊 ○ 昭和十九年九月海上松尾連隊	[Redacted]	最後ノ新属 部隊ヲ主ニ 之向テ以前 ノ所属部隊 ノ分テノ概記 ス
所属部隊作 戦經過ノ概要	○ 舟艇物申洞窟定家 ○ 南地込隊有智隊記捕集 ○ 北ノ隊有智隊記捕集	[Redacted]	[Redacted]
終戦(又ハ主力 ノ戦ヲ終了) 後ノ概況	○ 自任ノ隊員 ○ 帰還ノ隊員	[Redacted]	帰還輸送 ノ状況ヲ併 記ス
歸郷(又ハ連 絡)ノ概況	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
其他ノ参考 ノ項	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
備考	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

將校一部宛記載セシメテ復員者史実部ニ送付ス



史實調査參考資料報告

所在地 沖繩縣宮古島

所屬部隊 海陸連基地第三大隊

職名 第一中隊長

姓名 [Redacted]

摘要 経戦時ノ  
毛分記又

支那軍要  
以降之概況  
自己ノ略ノ

昭和二十一年十月三日、歩四支隊隊長守備隊。十月十日、第五中隊長代理。  
二十一年七月六日、留守隊中隊長。同八月十九日、歩五五聯隊  
昭和十九年九月七日、海上延退、若地、九平、大隊、要員トシテ野砲兵五五聯隊  
神龍隊ニ属シ、九月六日、動員完結、同日命、第一中隊長。十月三日、鹿  
見島港出陣、十月十五日、宮古島上陸。自十月十五日起、昭和二十一年三  
月十五日、宮古島附近警備。自三月十六日至六月十五日、天号  
作戰参加。自六月十五日至八月十五日、宮古島附近警備。

職ノ要又  
主ニ参加  
戦ノ名ヲ  
記ス

所在部隊

編成年月

及編成裝備  
ノ概要

(裝備) 九九式短小銃 二三。三八式銃剣 三三。軍刀 一六。  
又土工器具若干。自働車 二日大若干。  
ノ煤油器具及煤油若干。

最後ノ所屬

部隊ヲ主ニ  
ノ尚ノ以前

ノ所屬部隊  
ノ分ヲ概記

所屬部隊  
ノ概況

一、歩兵第五十五聯隊  
昭和二十一年十月五日、秋津博上陸戦中、爾後中支前線及警備  
昭和二十一年十月二日、白取上陸戦中、本東攻略戦、爾後南支前  
線及警備  
一、海上延退、若地、九平、大隊  
自昭和十九年十月五日、至昭和二十一年三月、自宮古島警備  
自昭和二十一年三月六日、至昭和二十一年六月、天号作戰参加。自六月  
三十一日至八月十五日、宮古島附近警備。

終戦(ノ主  
カノ終戦終了)

後ノ概況

一、概不軍紀ヲ保持シ得タル。一般ニ志氣弛緩自軍中有級ノ美ヲ見テ  
ノ得タルト云フ。然レモ、遺物トス  
二、部隊ノ後援、後援ノ自活作業ニ重点ヲ移シ、精神教育ヲ實施  
シ、後方町ニ及ヒリ

帰還部隊  
ノ概況ヲ元  
併記ス

帰還(又ハ  
運送)先

[Redacted]

其他参考  
事項

一、戦後、不逞ノ友、楚楚、失調、甚重、不逞者 二五三名中  
二三名ニ達ス

備考

將校一部死戦也、又復員員、史實部ニ送付ス

史実調査参考資料報告

所在地	所屬部隊	支那事変 以降の略 自己略	所在部隊 編成年月日 及編制裝備 概要	所屬部隊作 戦経過概要	終戦(又主力 戦終了) 後ノ概況	備考
關東軍司令部 陸軍中隊	職官 陸軍中隊長 氏名 [Redacted]	自昭二十一年一月至昭二十一年二月 軍管理中陸軍中隊 自昭二十一年一月五日 至昭二十一年一月五日 陸軍中隊 自昭二十一年一月七日 至昭二十一年一月七日 陸軍中隊 自昭二十一年一月九日 至昭二十一年一月九日 陸軍中隊	編成年月日 昭二十一年一月九日 編制 陸軍中隊 裝備 九九式短小銃各一 外に自動式機銃一挺 土工、木工各一 若干	昭二十一年一月五日 空島上陸、空島に上陸後、海軍挺身隊と協同して戦った。 昭二十一年一月七日 海軍挺身隊と協同して戦った。 昭二十一年一月九日 海軍挺身隊と協同して戦った。 昭二十一年一月十日 海軍挺身隊と協同して戦った。	終戦時、空島に在りて、戦後、海軍に送られた。	特校一部宛記載せず、復員者史実部へ送付す
關東軍司令部 陸軍中隊	職官 陸軍中隊長 氏名 [Redacted]	自昭二十一年一月至昭二十一年二月 軍管理中陸軍中隊 自昭二十一年一月五日 至昭二十一年一月五日 陸軍中隊 自昭二十一年一月七日 至昭二十一年一月七日 陸軍中隊 自昭二十一年一月九日 至昭二十一年一月九日 陸軍中隊	編成年月日 昭二十一年一月九日 編制 陸軍中隊 裝備 九九式短小銃各一 外に自動式機銃一挺 土工、木工各一 若干	昭二十一年一月五日 空島上陸、空島に上陸後、海軍挺身隊と協同して戦った。 昭二十一年一月七日 海軍挺身隊と協同して戦った。 昭二十一年一月九日 海軍挺身隊と協同して戦った。 昭二十一年一月十日 海軍挺身隊と協同して戦った。	終戦時、空島に在りて、戦後、海軍に送られた。	特校一部宛記載せず、復員者史実部へ送付す



史実調査参考資料報告

所在地	官位	職官	摘要
所屬部隊	海軍 海上挺進基地 第三大隊	第二中隊 第一小隊	終戦時ノ エノヲ記入
支那事変 以降ニ於テ 自己ノ略ヲ	昭和十九年七月七日久留米西郊五十二部隊ニ召集シ十九年九月海上挺進方第三大隊編入十一月二十二日宮古島上陸	職ノ変更及 ニテハ参加 戦斗名ヲ 記ス	基地 陣地 設置
所在部隊 編成年月日 及編制裝備 ノ概要	昭和十九年九月十五日編成 小銃 一、外ニ土工器打少電	最後ノ所屬 部隊ヲ主ニ シ向ニ以前 ノ所屬部隊 ノ分ヲ概記 ス	終戦(又ハ主力 ノ戦斗終了) 後ノ概況
所屬部隊作 戦経過ノ概要	十、陣地構築	歸還輸送 ノ概況ヲ併 記ス	歸郷(又ハ連 絡)先
其他ノ参考 事項	[Redacted]	特校一部宛記載シ又ハ復員者史実部ニ送付ス	備考

史実調査参考資料報告

摘要

所在地

神尾縣宮古郡平良町

職官

陸軍大尉

24

終戦時ノモリヲ記ス

所屬部隊

海軍陸上隊進駐基地第三十一大隊

氏名

[Redacted Name]

職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

支那事変以降ニ於テ自己ノ略ヲ

昭和十一年七月十四日野戰重砲兵第六聯隊ニ臨時召集同年七月二十六日吉林省新京着八有三日歸隊完結同日國東軍野戰兵器廠々員被仰付同日撤本部隊附昭和十七年十二月十日昭和十五年陸支機密才二五四号ニ依リ野戰重砲兵第六聯隊補充隊ニ轉属ラレタリ昭和十八年一月十五日召集解除

職ノ変更及主ナル参加戦斗名ヲ記ス

所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要

昭和十九年九月七日海上進駐基地第三十大隊要員トシテ野砲兵第五十六聯隊補充隊ハ入隊同月十六日歸隊完結  
下士官ハ軍刀、兵ハ小銃ノミニシテ其ノ他ニ若干ノ土工器具、及煤油等少量ニシテ部隊ノ任務ヲ完遂シ甚ク遺憾ノ兵大ナリキ依テ歸隊地及履歷等ハ不詳トシテ木工兵自働車工具、木材等ハ多量ニ購入シ行ハレタリ

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ尚シ以前ノ所屬部隊ノ分ヲ概記ス

所屬部隊ノ戦經過ノ概要

昭和十九年十一月二十日宮古島上陸直ニ平良町野川崎ニ舟艇用洞窟十七個(長十八米上中三米底中三米高一八米)救護所一個(長十五米上中一五米底中二二米高一八米)糧秣庫一個(長十米上中二米底中二米高一八米)炊事庫一個(長十米上中二米底中二米高一八米)水車庫一個(長十米上中二米底中二米高一八米)完成シテトシテ野砲兵第六聯隊用洞窟六個ヲ構築中ニ於テ十一月三日山中ニ轉進シ命ヲ受レ山中附近ニ所屬兵器廠ニ從事ス高天一ノ作戦ニ協力シ感狀ヲ附其ノ事自記ヲ書ク

最後ノ所屬部隊ヲ主ニシテ尚シ以前ノ所屬部隊ノ分ヲ概記ス

終戦(又ハ主力ノ戦斗終了)後ノ概況

昭和二十年八月十五日終戦後ハ自活ヲ主トシテ空堀ニ自給自足セリ

帰還輸送ノ状況ヲ併記ス

歸郷(又ハ連絡)ノ概況

[Redacted]

其他ノ参考事項

特記ヲ下シ

備考

特校一部宛記載セシメテ復員者史実部ニ送付ス

史実調査参考資料報告

摘要

所在地  
宮古島

職官  
陸軍少尉

終戦時ノ  
モリヲ記ス

所屬部隊  
海軍陸軍進基地第三大隊

氏名

[Redacted Name]

職ノ変更及  
主ナル参加  
戦斗名ヲ  
記ス

支那事変、  
以降ニ於テ  
自己ノ略下

十二

所在部隊ノ  
編成年月日  
及編制裝備  
ノ概要

昭和十九年九月十六日動員完結、  
大隊本部、勤務中隊三、警備中隊一、  
九九式短小銃、及警備中隊ニ上ノ二輛ヲ修理器具

所屬部隊作  
戦経過ノ概要

自一九四一、三、三〇、三二九日、宮古島附近警備、  
二、三、二六、二〇、六、二〇日、天號作戦参加、  
二、六、二二、二〇、八、一五、宮古島附近警備、

最後、所屬  
部隊ヲ至ニ  
シ向、以前  
ノ所屬部隊  
ノ分ニ概記  
ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

自二〇、八、一六日、二、一、二四日、宮古島ニ於テ自任作業ニ  
勤務ス、

帰還輸送  
ノ概況ヲ併  
記ス

帰郷(又ハ連  
絡)先

[Redacted]

其他参考  
事項

十二

備考

特校一部宛記載セシメテ復員省史実部ニ送付ス

史実調査參考資料報告

摘要

所在地

南島嶼 官古島嶼

職官 第三中隊長 陸軍大尉

終戦時ノ  
モリヲ記ス

所属部隊

南海上挺進基地第三大隊

氏名

[Redacted Name]

職ノ変更及  
主ルル参加  
戦斗名ヲ  
記ス

支那事変  
以降ニ於テ  
自己ノ略ヲ

一 自昭和二十一年八月至二十一年十二月 第三師團第三輸送區区長  
二 昭和二十一年七月至二十一年五月 第三輸送區區長  
三 昭和二十一年一月 海上挺進基地第三大隊  
四 第三中隊長トシテ 南島嶼官古島嶼ニ進駐 大東野  
戦中 第三師團ニ從テ

所在部隊  
編成年月日  
及編制裝備  
ノ概要

一 昭和二十一年九月十六日 編成完了後  
第三大隊 第三中隊長 及 第三中隊長  
本師團第三中隊長 及 第三中隊長  
第三中隊長 中隊長以下 五百五十三名  
指揮官 及 第三中隊長 一六八四名 令隊  
裝備 兵八令隊 小銃二二二日 勃出花十

所属部隊  
戰經過ノ概要

一 昭和二十一年十一月二十二日 官古島嶼上陸 兵八令隊  
二 舟艇ヲ用テ 洞窟ニ構テ 潜伏  
三 昭和二十一年十二月 中隊長ニ移駐 陸上戦斗大隊  
ニ 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ  
三 天ノ字作戦開始 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ

終戦(又ハ主力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

一 終戦後 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ  
二 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ  
三 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ

歸還輸送  
ノ概況ヲ  
併記ス

最後ノ所属  
部隊ヲ至ニ  
三ノ向ニ以前  
ノ所属部隊  
ノ分ニ概記  
ス

其他ノ参考  
事項

無シ

備考

特校一部宛記載セシメテ一復員者史実部ニ送付ス

歸郷(又ハ遠  
絡)先

[Redacted]

終戦(又ハ主力  
ノ戦斗終了)  
後ノ概況

一 終戦後 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ  
二 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ  
三 兵八令隊 第三中隊長トシテ 第三中隊長トシテ

歸還輸送  
ノ概況ヲ  
併記ス

最後ノ所属  
部隊ヲ至ニ  
三ノ向ニ以前  
ノ所属部隊  
ノ分ニ概記  
ス

其他ノ参考  
事項

無シ

備考

特校一部宛記載セシメテ一復員者史実部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

所屬部隊 (固有名)	全右所在地	職官	氏名	終戦時ノモノヲ 記ス	摘要
海軍陸基隊第千大隊	宮古島	陸軍大尉	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴	昭和三十二年八月二十一日應召西軍部軍人部隊 昭和三十四年五月第三十七海軍團司令部附 昭和三十四年五月北支山西省守色縣ニ進駐 昭和三十六年十一月北支西省内地掃蕩 昭和三十六年十一月四日召集解除 昭和三十九年九月三日回艦 海上進駐基地第千大隊ニ編入 昭和十九年十月内地掃蕩宮古島第千大隊ニ編入	昭和三十九年九月二十六日 編制、大隊本部、勤務中隊、 整備中隊、 整備小銃ノミ	昭和三十九年九月二十六日、 編制、大隊本部、勤務中隊、 整備中隊、 整備小銃ノミ	職ノ變更及主ナル 參加戰闘名ヲ 記ス	最後ノ所屬部隊 ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲ概記ス
終戦(又ハ主力 ノ戰闘終了) 後ノ概況	自派、専念(宮古島) 昭和三十二年十一月二十日宮古島出船(米船) 二十五日、三十二年三月二十日沖繩出船 三十二年三月二十七日浦賀上陸	昭和三十二年十一月二十日宮古島出船(米船) 二十五日、三十二年三月二十日沖繩出船 三十二年三月二十七日浦賀上陸	歸還輸送ノ状況 ヲ併記ス	先 歸郷(又ハ連絡)	其ノ他ノ參考事 項
所屬部隊作戦經 過ノ概要	昭和三十九年九月二十六日、 編制、大隊本部、勤務中隊、 整備中隊、 整備小銃ノミ	昭和三十九年九月二十六日、 編制、大隊本部、勤務中隊、 整備中隊、 整備小銃ノミ	備 年 月 日 及 編 制 裝 備 ノ 概 要	備 考 將 校 ニ 記 載 セ シ メ 第 一 復 員 省 史 實 部 ニ 送 付 ス	備 考 將 校 ニ 記 載 セ シ メ 第 一 復 員 省 史 實 部 ニ 送 付 ス

61

6/m

史實調査參考資料報告

摘要

備考	其ノ他ノ參考事項	先歸郷(又ハ連絡)	終戦(又ハ主力ノ戦闘終了)後ノ概況	所屬部隊作戦經過ノ概要	所在部隊ノ編成年月日及編制裝備ノ概要	支那事變以降ニ於ケル自己ノ略歴	所屬部隊(固有名稱)	職官	終戦時ノモノヲ記ス
							全右所在地	氏名	
將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス		[Redacted]	終戦後ハ宮古島ニ於テノ再建團長ヲ任ぜられ自治作業ニ従事	宮古島ニ於テノ再建團長用同窓ノ城作ス	昭和九年九月 龍岡中隊 裝甲小銃	ナレ	[Redacted]	陸軍少尉	2中
			歸還輸送ノ狀況ヲモ併記ス	以前ノ所屬部隊ノ分ヲモ併記ス	最後ノ所屬部隊ヲ主ニシ向ソノ				

史実調査参考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名称)

海上挺進基地

職官

少隊長  
陸軍中尉

34

終戦時一毛  
ヲ亡ス

所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

職変更及  
主ナル参加

支那事変以  
降於此自  
己ノ略ヲ

昭和十九年二月十一日西部六五二部隊ニ應召  
全 自五月三十一日至七月七日配属將校トシテ學校戰斗名ヲ  
全 七月八日より西部六五二部隊ニ復属。勤務記不  
シマ号訓練ニ参加  
昭和十九年九月七日海上挺進基地ガ三大隊ニ付属

所在部隊  
編成年月日  
及編制裝備  
概要

編制完結 昭和十九年九月十日  
裝 備 勤務中隊一、三、中隊  
整備中隊一、中隊

最後ノ所屬  
部隊ヲ主ニ  
ニ尚ソノ以テ  
ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概  
記ス

所屬部隊  
作戰經過  
概要

昭和十九年十月二十三日宮古島上陸直ニ①船  
收容洞窟作業ニ從事  
昭和二十年三月一日船隊東島中全乗入自四附近  
敵空襲襲ヨリ全滅シタル人任務變更地上戦斗部  
隊トシテ陣地構築ニ從事終戦トスル。

終戦(又ハ主  
力ノ戦斗終  
了)ノ状況

主トシテ自治作業並ニ兵精神教育  
昭和二十年十二月二十日宮古島ヨリゲール号三乗船  
十二月三十日沖繩東島上陸屋敷收容所ニ入所  
昭和二十年三月一日沖繩東島ヨリゲール号三乗船  
三月六日浦賀ニ上陸

帰還輸送  
ノ状況ヲモ  
併テ不

歸還(又ハ連  
絡)先

[Redacted]

其他ノ参  
考事項

備考

呼称ニ記載セシメ第一復員省文実部ニ送付ス

所屬部隊  
(固有名)

海上挺進基地第三大隊

職官

小隊長 陸軍歩兵少尉

終戦時ノ  
ラカス

所在地

神奈川縣宮古郡宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事変以  
降ニ於テ自  
己ノ略ヲ

職変更及  
主ナル参加  
戦斗名ヲ  
記ス

所屬部隊  
編成年月日

編制完結 昭和十九年九月十六日

編制裝備  
概要

裝備 勤務中隊 一三ヶ中隊  
整備中隊 一ヶ中隊

所屬部隊  
作戦経過  
概要

昭和十九年十月十五日宮古島上陸直ニシテ船収  
容洞窟内作業ニ従フ  
昭和二十年二月一日船隊末島中奄美大島附近  
ニテ敵艦沈没ヲ見セシメ全滅シタル後、更ニ  
戦術部隊トシテ陣地構築ニ從事シ終戦トシ

最後ノ所屬  
部隊ヲ主ニ  
ニ尚ソノ以テ  
ノ所屬部隊  
ノ分ラズ概  
記ス

終戦ノ主  
カノ戦中終  
了ノ状況

主トシテ自治作業並ニ兵隊員精神教育  
昭和二十年十月二十日宮古島ヨリゲーファン島ニ移  
艦 十二月二十三日沖繩本島ニ上陸、屋嘉水空  
所ニ入所  
昭和二十年三月一日沖繩本島ヨリゲーファン島ニ  
乗艦 三月六日神賀ニ上陸

帰還輸送  
ノ状況ヲモ  
行カス

帰還(又ハ連  
絡)先

[Redacted]

其他ノ参  
考事項

備考

呼称ニ記載セシメ第一復員省史実部ニ送付ス